

2023年1月31日
イオン株式会社
イオンリテール株式会社

2025年春 開業、地域の自然と共存 埼玉県狭山市に新風、人と街を緑がつなぐ生活拠点型商業施設を開発

イオンは、2022年11月に狭山市と締結した包括連携協定に基づく取り組みの一環として、地域の生態系の保全と創出に配慮し、店舗を起点に様々な世代が毎日のように自然と集うイオンリテールのショッピングセンター（以下、SC）「そよら」の開発を、2025年春のオープンを目指して開始します。



※画像は現段階のイメージ

イオンは事業を通じて環境・社会課題の解決を目指し、豊かさの根源を未来に引き継ぐため長年にわたりサステナブル経営を推進しています。また狭山市とイオンは、地域課題の解決に向けて相互に緊密な連携を図り、双方の有効資源を活用することで、地域の一層の活性化と市民サービスの向上を図ることを目的として包括連携協定を締結しました。本協定のもと環境保全や緑化推進、子育て支援や青少年の健全育成など、幅広い分野で連携を図り、豊かな地域社会や新しいサービスの創出に取り組んでいます。

こうしたなか当SCは、入曽駅周辺の「顔」となり、交流人口や若い世代の移住・定住の増加、地域にお住まいの方々の利便性向上などにお応えし、地球環境と周辺の住環境にも配慮した、緑豊かで賑わいのある施設を目指してまいります。

地域の生態系の保全と創出に配慮したSC開発を実践

周辺の自然環境や生態系に及ぼす影響をできる限り少なくとどめるため、生物多様性評価や環境負荷軽減策を立案するなど、生態系の保全と創出に配慮したSC開発を実践します。

当SCでは、建設予定地である旧入間小学校跡地に現存する樹齢100年の県木「ケヤキ」と共存した、人が集い、会話が生まれ、笑顔が広がる憩いの空間づくりや店舗がオープンする際に近隣のお客さまとともに敷地内に植樹する「イオン ふるさとの森づくり」など、地域に自生する木による森を創出します。

店舗を起点として、未来を担う子どもたちの支援や青少年の健全な育成

店舗を拠点に子どもたちが活動を行う「イオン チアーズクラブ」は、行政や地域のNPOなどの協力団体とともに、環境への興味や関心、考える力を育む場とする体験学習を行っています。

また、植樹から数年が経過した店舗では、イオンの森に生息する鳥や昆虫、植物など、様々な生き物を確認する「イオン ふるさとの森づくり」いきもの調査を実施し、森の成長を見守る活動も続けています。

※：当SCのオープン日や正式名称・施設概要等は、順次公表予定です。

ご参考

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、国内外の様々なステークホルダーの皆さまとともに活動する公益財団法人について。

➤ 「公益財団法人イオン環境財団」

ひとつしかない地球を、次代に引き継ぐために。

公益財団法人イオン環境財団は、地球環境をテーマにした日本初の企業単独の財団法人として1990年、岡田卓也（現イオン株式会社名誉会長相談役）により設立されました。国内外の多様なステークホルダーの皆さまと連携し、アジアを中心とした世界各国における「植樹」活動をはじめ「助成」や環境人材の育成を目指した「環境教育」「パートナーシップ・顕彰」事業などを実施しています。



代表的な事業である「植樹」活動では、これまで世界各地で地域ボランティアの皆さまとともに、伐採跡地や自然災害などで荒廃した森に植樹し、みどりの再生を実施してきました。近年では、森づくりに加え、地域づくり、人づくりにも取り組む「イオンの里山」の構築を通して、持続可能な地域の実現を目指しています。

➤ 「公益財団法人イオンワンパーセントクラブ」

考える力、広い視野、思いやりの心を養い、子どもたちの未来を育む。

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、1990年に設立されました。「お客さまからいただいた利益を社会のために役立てる」という想いのもと、イオングループ主要企業が税引前利益の1%相当額を拠出し、子どもたちの健全な育成、諸外国との友好親善、地域の発展への貢献を柱に事業を行っています。



代表的な事業である「イオン チアーズクラブ」では、小中学生たちが全国の店舗を拠点とし、環境・社会に関するさまざまな体験学習に楽しみながら取り組んでいます。

当SC建設予定地近隣の「イオン チアーズクラブ狭山」では、これまでに農場での収穫体験や茶摘み体験などを実施してきました。「そよら」の開発を機に、今後も活動の輪を広げてまいります。

イオンリテールの都市型SC「そよら」について

そよら

「そよら」は、2020年3月オープンの「イオンスタイル海老江」の出店に合わせて実施した一般公募により選出された「**そ**ら、**寄**って、**楽**しんでって!」の呼びかけを由来とした呼称となります。日常にさわやかな**そよ風**が吹き込むように、都市に住む人々の生活をもっと楽しく、心地よく過ごすための施設。という想いが込められています。

➤ コンセプト

「通う・集う・つながる場」をキーワードに、

「都市生活に必要なモノが揃い、日々の暮らしをもっと楽しく便利にする毎日のように自然と通う生活拠点」をコンセプトとしています。

スーパーやドラッグ、カフェ、クリニックなど生活に密着している施設が別々に立地していることの多い都市部において、物販だけでなくサービスも揃えた、日常使いのコンパクトな買物も用事も1カ所で済ませられる場を提供し、都市インフラとして地域の生活を支えたいと考えています。